

グリーンボンド

中米経済統合銀行

2020年8月13日満期 南アフリカ・ランド建債券

期間 約**4年** 利率 年**8.40%**

売出期間 2016年8月4日～2016年8月16日

(2016年8月9日は、お取引はできません。)

(注)利率は南アフリカ・ランドベースです(為替・税金の考慮をしておりません)。

お申込みの際は「目論見書」をご覧ください。

売出要項

【売出価格】額面金額の100%

【お申込単位】額面金額
10万南アフリカ・ランド単位

【受渡日】2016年8月19日

【利払日】毎年2月・8月の各13日/年2回

【償還日】2020年8月13日

【格付】A1(ムーディーズ)^{※1} /
A(S&P)^{※2} / AA-(JCR)

※1 金融商品取引法第66条の27の登録を受けていない者が付与した格付(無登録格付)です。無登録格付につきましては、「無登録格付に関する説明書」の内容をご確認ください。

※2 S&Pは個別の債券に対して適用されるものではなく、シニア無担保長期債務格付です。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料など諸費用について

- 本債券をお買付けいただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 本債券は外貨建債券ですので、「外国証券取引口座設定申込書」を取りかわし、口座管理料[通常、年間3,240円(税込)]を別途お支払いいただきます。

ご投資にあたってのリスク等

- 本債券を円換算した価値は、金利・償還金として支払われる外貨の円に対する為替水準により上下いたしますので、これにより投資元本を割込むことがあります。
- 本債券の価格は金利変動等により上下いたしますので、償還前に売却する場合には、投資元本を割込むことがあります。
- 本債券の発行者または保証者および金利・償還金として支払われる外貨発行国の経営・国情・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割込むことがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 本表示は当該債券の発行に関する情報をお知らせするものです。お申込みにあたっては当該債券の詳細について記載した目論見書をお渡しいたしますので、あらかじめご覧のうえ、ご購入をご検討ください。
- 販売額に限りがありますので、売切れの際はご容赦ください。
- 売出期間中はご購入のお申込みを取消することができます。その場合、発生する為替差損はお客さまのご負担となります。
- 本債券は外貨建債券ですので、金利・償還金のお受取りは、原則利払日・償還日の翌営業日以降となります。
- 途中売却または、価格情報および格付の状況等については、大和証券のお取引窓口までお問合わせください。
- 個人のお客さまの場合、利子は20.315%の税金が源泉徴収された後、申告不要または申告分離課税のいずれかを選択できます。譲渡益および償還益(それぞれ為替損益がある場合は為替損益を含みます。)は、上場株式等にかかる譲渡所得等として20.315%の申告分離課税の対象となります。本債券の利子、譲渡損益および償還損益は、上場株式等の利子、配当等および譲渡損益等との損益通算が可能です。また、確定申告により譲渡損失の繰越控除の適用を受けることができます。なお、将来において税制改正が行なわれた場合は、それに従うことになります。詳しくは税理士等の専門家にご相談ください。
- お取引にあたっては、「外貨建て債券の契約締結前交付書面」をお読みください。

中米地域の気候変動に関連する課題

- ◆ 中米地域における約45%の電力およびエネルギーは水力資源から作られています。しかしながら、気候変動により降水量が減少しており、再生可能エネルギーである水力発電が困難となっています。
- ◆ 中米地域における順調な経済発展により、天然資源の質が悪化しており、年間約15億米ドルの追加発電および新規エネルギーインフラ投資が必要とされています。
- ◆ 自動車の右肩上がりの増加および化石燃料の利用により、中米地域の主要都市における大気汚染が急速に進んでいます(ラテン・アメリカにおいてもっとも汚染が進んだ都市として、エルサルバドルのサン・サルバドルはペルーのリマ、ボリビアのラパスに次いで3位、ホンジュラスのテグシガルパは5位)*。
- ◆ 船舶用燃料重油および燃料炭の代わりに、よりクリーンでかつエネルギー効率の良い天然ガスの利用を可能にする投資に対する著しい需要があります。中米地域における電力およびエネルギーの約38%が化石燃料から作られており、既存の電力供給システムにおいて天然ガスの利用はまだありません。
- ◆ 中米地域の送電網(グリッド)に、風力および太陽光発電等の革新的な再生可能エネルギー・テクノロジーを導入するべきであり、それらは安定電力供給能力を有し、変電所、送電および供給ライン等の電力インフラとともに整備される必要があります。

* 出所:世界保健機関(WHO)

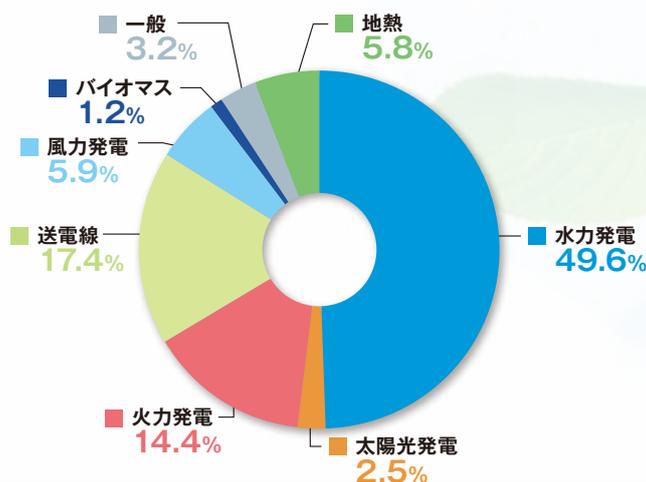
中米経済統合銀行(CABEI)の「グリーン」への取り組み

- CABEIは中米地域における有力な国際開発銀行として、2005年から2014年にかけて、当該地域へは融資実行総額の過半の約140億米ドルを融資しており、当該額の約37%(52億米ドル)は再生エネルギー関連のプロジェクトに対する融資でした。
- CABEIは、公共セクターおよび民間セクターのエネルギー効率化、再生可能エネルギーおよびエネルギーインフラ整備に関連するプロジェクトに、直接融資、シンジケートローンまたは直接投資の形で資金を提供し貢献してきました。

再生可能エネルギープロジェクトへの貢献

- 設立以来、2016年6月までにCABEIは220を超えるプロジェクトに参加し、合計53億米ドルのエネルギー関連融資を実行してきました。
- 当該融資実行総額のうち、再生可能エネルギーは68%(36億米ドル)、エネルギーインフラ整備(中米電力連系システム(SIEPAC)を含む)は20%(11億米ドル)を占めています。
- 設立以来、2016年6月までに3千万トンを超える温室効果ガスを削減しました。

エネルギー関連融資の内訳(1961年-2016年)



CABEIが発行する「グリーンボンド」は、投資家の皆様に中米地域の気候変動の緩和と適応のための持続可能エネルギー関連プロジェクトに融資するCABEIをサポートする機会を提供します。

CABEIの「グリーンボンド」の仕組み



CABEIは、「グリーンボンド」が償還されるまで、持続可能エネルギー関連プロジェクトに対し、「グリーンボンド」の調達資金と同額を充当すべく最大限努力します。

当該目的に全額を充当できない場合は、残額は基本協定*に則った一般業務に充当します。

本債券の元金は、CABEIの信用力のみに基づいて支払われるものであり、CABEIの持続可能なエネルギー関連プロジェクトに関わる投資および融資のパフォーマンスから直接の影響を受けるものではありません。

*1960年12月30日付の基本協定(その後の改定も含む。)

再生可能エネルギープロジェクトの事例

【レバンタソン水力発電プロジェクト】

プロジェクト概要 現在中米全地域において最大の水力発電プロジェクトで、発電設備容量は305.5メガワット。使用水量は毎秒255立方メートルであり、年間約1,572.8ギガワット(予定)の発電により、年間約760,000人に電力を供給可能。6.9平方キロの貯水池を有する高さ130メートルのロックフィルダム(垂直軸型の4基のフランシス水車が設置される発電所に水流を取り込む1.72キロメートルのトンネルおよび894メートルの導水路を含む)。

所在地	コスタリカ
事業開始日	2016年5月
事業総額	14億4,300万米ドル
CABEI 融資額	2億2,500万米ドル(事業総額の15.6%)
プロジェクト計画	年間456,112トン大気圏に放出される二酸化炭素、年間2,496,508バレルの輸入燃料を削減。

【パノメ集合型風力発電(第2および第3フェーズ)プロジェクト】

プロジェクト概要 規模が215メガワットとなる風力発電プロジェクト。年間432ギガワットの発電(見積)により、約236,000人に電力を供給可能。風力発電システムの定格出力が2.5メガワットとなるゴールドウィンド社の風力タービン86基を導入。

所在地	パナマ
事業開始日	2016年5月
事業総額	4億2,931万米ドル
CABEI 融資額	3,000万米ドル(事業総額の7.0%)
プロジェクト計画	年間285,900トン大気圏に放出される二酸化炭素、年間687,590バレルの輸入燃料を削減。

中米経済統合銀行(CABEI)について



Central American Bank for Economic Integration
CABEI

- CABEIは中米地域における国際開発銀行です。
- 1960年に設立され、本店はホンジュラスのテグシガルバに所在しています。
- 12の加盟国(2016年6月現在)
- 中米地域の経済的統合ならびにバランスの取れた経済的・社会的発展を促進し、加盟国全ての利益に資することを目指しています。雇用創出と国民の福祉および生活の質の改善に寄与する金融ソリューションの提供のために加盟国と戦略的に連携しています。

インパクト・インベストメント ～投資を通じた社会貢献～

大和証券では、資金を必要としている人と資金を持つ人をつなぐという証券会社本来の役割を通じ、投資家の皆さまとともに、貧困をはじめとするさまざまな問題の解決に寄与していきたいと考えております。

インパクト・インベストメント

環境破壊、貧困、飢餓・・・ いま、地球上にはさまざまな問題があふれています。世界の国々が抱える社会的な問題を投資によって解決するのが、インパクト・インベストメントと呼ばれる投資のスタイル。経済的な利益を追求するだけでなく、貧困や医療、地球温暖化などの問題の解決も目指すという新しい投資のかたちです。社会的課題の解決には莫大な資金が必要です。「投資を通じて社会に貢献したい」とお考えの方のニーズにも応えるインパクト・インベストメントは、今後の拡大が期待されます。

社会的課題の解決に向けて -大和証券の取組み-

大和証券ではこれまで、途上国の子どもたちへの予防接種活動を支援する『ワクチン債』、調達資金をマイクロファイナンス（貧困層向け小規模金融サービス）に活用する『マイクロファイナンス・ボンド』、水問題解決に向けたプロジェクトを支援する『ウォーター・ボンド』など、社会貢献につながる金融商品を販売してきました。中米経済統合銀行が発行する『グリーンボンド』による調達資金は、持続可能エネルギー関連プロジェクトの支援に活用されます。今後も、こうしたインパクト・インベストメント商品の開発・販売に積極的に取り組んでいきます。

大和証券コンタクトセンター  **0120-010101** 平日 8:00～19:00 土・日・祝日 9:00～17:00

- 取扱商品等に関するお問い合わせは平日8:00～18:00に受付けております。
- 上記時間帯以外も6:00～24:00は自動音声応答サービスをご利用いただけます。
- 土・日・祝日および平日18:00～19:00は、資料ならびに一部の手続き書類の請求を受付けております。
- 大和証券に口座をお持ちの皆さまは、お取扱店番号(3桁)・口座番号(6桁)・暗証番号をあらかじめご準備ください。

■新発外貨建て債券注文受付時間・・・平日9:00～18:00(※お申込み最終日のみ、11:00まで)

インターネット(オンライントレード)でもお申込みいただけます。 大和証券ホームページ www.daiwa.jp



ダイワのポイントプログラム
うれしい特典いっぱい!

本債券はポイントプログラムの対象商品になります。
詳細は大和証券 本・支店、またはコンタクトセンターへお問い合わせください。

目論見書のご請求・お申込みは・・・

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会